



Mental Wellness !

〔学生総合相談通信 No.57〕

発行 : 平成28年5月30日

拓殖大学学生総合支援室

ここ数日気温・湿度が高く、体調を崩しやすい状態にあります。特に、『熱中症』は真夏よりもこの時期の方が危険性が高まります。十分注意してください。

Topic 読めない、書けないか?…、ひとり苦しんでいるが

学習障害の中核を占める発達性読み書き障害（ディスレクシア）は、日本の人口の約0.7-2.2%、100-200万人いると推定されています。【独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター（HP）より引用】

関連する内容について、「国立研究開発法人 国立成育医療研究センター」HPより引用・抜粋してご紹介いたします。

発達性読み書き障害（dyslexia）

ディスレクシアは、1896年に英国のMorgan先生が最初に報告した文字の読み書きに限定した困難さをもつ疾患です。知的能力の低さや勉強不足が原因ではなく、脳機能の発達に問題があるとされています。そのために発達障害の学習障害に位置づけられており、2013年に改定された米国精神医学会の診断基準（DSM-IV）では、限局性学習症（いわゆる学習障害）のなかで読字に限定した症状を示すタイプの代替的な用語としてディスレクシアを使用しても良いことになりました。読字に困難があると当然ながら書字にも困難があります。そのため本邦では発達性読み書き障害と呼ばれることもあります。以下に初期症状をまとめて示しましたので、参照してください（抜粋）。

- 読字障害
 - ・文字を一つ一つ拾って読む（逐次読み）
 - ・語あるいは文節の途中で区切ってしまう
 - ・読んでいるところを確認するように指で押さえながら読む
 - ・文字間や行間を狭くするとさらに読みにくくなる
 - ・本を読んでいるとすぐに疲れる（易疲労性）
- 書字障害
 - ・促音（「がっこう」の「っ」）、撥音（「とんでもない」の「ん」）、二重母音（「おかあさん」の「かあ」）など特殊音節の誤りが多い
 - ・「わ」と「は」、「お」と「を」のように耳で聞くと同じ音（オン）の表記に誤りが多い
 - ・「め」と「ぬ」、「わ」と「ね」、「雷」と「雪」のように形態的に似ている文字の誤りが多い
 - ・面数の多い漢字に誤りが多い

根底には音韻処理困難があり、表記された文字とその読み（音）の対応が自動化しにくく、それを司る脳機能の発達が未熟であるとされています。ここで留意しておきたいことは、ディスレクシアの子どもでは文字が読めないと表現されることが多いのですが、これが誤りであり正しくは読むのが極端に遅いし、よく間違えるという表現になるという点です。1文字を読むのに時間がかかり、間違えることもあるといった状態では、読むだけで疲れてしまって、意味を把握する段階まで至りませんし、読書に対する拒否感が生じてしまうこととなります。その結果、語彙や知識が不足して、学業不振が著しくなっていきます。さらには心身症や不登校といった二次障害の状態になってしまうこともあります。

大学生活に対する不安や悩みなどがありましたら是非一度、総合支援窓口である学生総合支援室へ来室して下さい。随時、専門職である学生主事が相談に応じます。

八王子国際キャンパス 文京キャンパス ※月～金 9:00～17:00	管理研究棟1階 C館2階	八王子学生総合支援室 学生総合支援室 土 9:00～15:00	〔学生主事3名〕 〔学生主事5名〕
--	-----------------	---------------------------------------	----------------------

各種相談日のご案内【6月】

- 心の健康相談日**—専門医が来校し、心の健康に係わる不安や悩み等への医学的対処法を直接アドバイスしています。

〔文京キャンパス〕	3日・17日（金）	14:30～17:00
〔八王子国際キャンパス〕	9日・23日（木）	13:30～16:00
- 法律相談日**—本学教員による、法律に係わる諸問題についての相談機会を設けています。

〔文京キャンパス〕	16日（木）	11:30～12:30
-----------	---------------	--------------------
- 女子学生のための相談日**—本学女性教員による、女子学生のための相談機会を設けています。

〔文京キャンパス〕	27日（月）	14:30～15:30
〔八王子国際キャンパス〕	22日（水）	12:40～13:20

〔予約制〕 相談希望者は、何れかのキャンパス「学生総合支援室」で事前に予約して下さい。

次回発行予定 平成28年6月20日（月）